

令和4年度 和歌山市立東山東小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 阿部 敬子 作成日 令和4年5月6日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

生きる力をはぐみ、心身ともに健やかで、
明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を
持つ子どもの育成

【めざす児童像】

- ・思いやりのある子ども
- ・実行する子ども
- ・たくましい子ども
- ・心の豊かな子ども
- ・考える子ども

前年度の学校評価

- 落ち着いて学習に取り組んでいる
さらに基礎学力の向上に努めて欲しい
- コロナの影響による児童のストレスに
ついての配慮も大切にされている
- 基礎的な運動を今後も大切にして欲しい
- 地域との連携がうまく機能している

保護者・地域の願い

- 学力の定着
- 安心安全な楽しい学校
- 地域交流の推進
- 情報の積極的な発信

児童の実態

- 素直でまじめに物事に取り組める
- 時間を守って行動できる
- 元気な歌声が響く
- 家庭でネット環境に触れる機会が多い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- ◎家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎互いを認め合う仲間づくり
- ◎体験的活動の充実
- ◎道徳教育の充実

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域に開かれた学校

- ◎家庭・地域連携の充実
- ◎地域人材の活用推進
- ◎積極的な情報の発信

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う。
- 全教員が、年間1回の研究授業を実施し、授業力の向上を図る
- 学びの時間や放課後学習において基礎学力の定着を図る
- 家庭学習の手引きや自主学習ノート・タブレットを活用し、家庭学習の習慣を身につけさせる
- うちどく・読み聞かせを推進させ、読書習慣を定着を図る

- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会における人権意識啓発に努める
- 縦割り活動や全校遠足等を充実させ、子ども同士が関わる機会を増やすことで、ともに協力し思いやる心の育成を図る
- 特別の教科「道徳」で考える道徳を意識した授業を推進する

- 体育学習の充実を図り、基礎体力及び運動能力の向上を図る。また、児童の運動に親しむ環境整備に努める
- 3密回避、換気、手指消毒等のコロナ対策の指導を徹底する
- 「早寝」「早起き」「朝ごはん」を推奨し、生活習慣の確立に努める
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 学校だよりやホームページ等を通して、児童の様子や学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 創立120周年の行事に向け、地域・育友会と連携協力しながら取り組む
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や地域の自然・文化を積極的に活用する
- 学校運営協議会制度の有効活用や地域先達事業による地域交流などを通して、連携事業を推進する

指標

- ・県学習到達度調査の正答率が県平均を上回る
- ・わかる授業、児童主体の授業を実践したと思う。(児童・教師90%)
- ・うちどく50・100ブック達成45人以上

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)
- ・いじめ解消率(100%)
- ・小学校道徳「いきるちから」「心のとびら」の活用(100%)

- ・新体力テストで全国平均を上回る
- ・「早寝」「早起き」「朝ごはん」の実行(90%)
- ・避難訓練を年3回実施計画する(100%)

- ・地域とかかわった実践を全学年で実施する
- ・学校の様子がよく伝わった(保護者80%)
- ・ホームページを積極的に活用する

◎：特に重点的に取り組むこと